



コラム

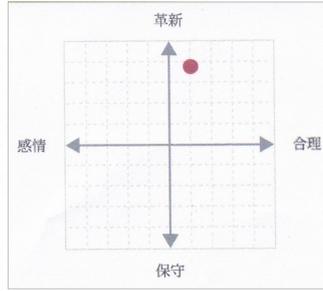
性格適性検査でミスマッチを防ぐ
採用面接時の補助資料として、

先日、知り合いの社会保険労務士に、「小早さん、よかつたら試しに受けてみませんか」と言われて、性格適性検査を受けてみました。

この検査は、「フィロソフィコンパス」と言われて、企業における人材採用時に参考にするために、京セラ系の人事マネジメントを勉強した方が開発したものだそうです。

「人と積極的に交わる方だ」「考える前に行動する方だ」「決められたことをやる方が好きだ」などといった問いに、イエスかノーで答えていき、どんなタイプの人間なのかを総合的に判断する検査です。

性格の方向性は、「保守か革新か」と「合理か感情か」の二軸で評価するのですが、私は「合理・革新」だそうで、しかも革新の度合いが非常に強く出ています。



行動面では、「機敏性」が際立って高く、対人面では、「自尊心の強さ」が際立って高い、という結果が出ました。

総合判断のコメントは、「まだ誰も手を出したことがない仕事、道なき道を自らの判断のみを頼りに原野を切り拓いていく開拓者、フロンティア的な資質を秘めています。困難な状況も冷静に判断し、粘り強く事態が好転するのを待ち、ジリジリとゴールへ近づいていく、そのような資質がみられます。」となっています。

なるほど、私自身も納得できる判断で、概ね合っているように感じます。

結果を基に、その社労士に解説してもらったのですが、どうも私の性格は、かなり特異なものらしく、「こういうタイプの人は、はじめて見ました」とのこと。

きつと、私のような人間は、企業に雇われるのに向いていないのでしょうか(笑)。いわゆる一匹狼タイプなので、今現在の立場がピッタリ合っているわけです。

この検査は、別に「良い・悪い」を判断するものではありません。性格のタイプを掴んで、採用時の参考にするためのものです。つまり、応募者が我が社の社風に合うかどうか、配属予定部署の仕事に合うだろうか、ということ判断する補助にする、という趣旨だと理解します。

受けてみた感想として、いくつかの設問については、「イエスともノーとも言えない」「イエスとノーのどちらもある」というものがあり、必ずしもすべてが当たっているとは言えません。ただ、全体の傾向としてはよく把握できていると感じます。

私はこれまで、あまりこのような適性テストなどに関心がなく、信用もしていなかったのですが、今回受けてみて、こうした適性検査の有用性を見直しました。

人材の流動性が高い今の時代に、悲劇的なミスマッチを防ぐため、こうした検査ツールを活用するのも悪くはないと感じました。

「フィロソフィコンパス」にご興味の方は、お問い合わせいただければ、当該社労士さんをご紹介いたします。(小早)

編集後記

掃除は神事

島根県大田市での仕事のついでに、出雲大社にお参りしてきました。

さすが、日本で有数の歴史を持つ神社だけあって、厳かな雰囲気にもまれ、しばし神話時代に思いを馳せました。

驚いたのは、境内にゴミなどがまったく落ちていないことです。清掃員や奉仕員さんたちがきれいに掃除をしていることもあるでしょうし、参拝者がゴミをポイ捨てしないということもあるでしょう。

まさに、「掃除は神事」だと実感しました。(小早)



飛鳥のつばやき

少年は手を離せ

夏休み明けの初日、2年生の長男を学校まで送っていきました。

1年生の時は登校するときには手をつないで歩いていたのに、いつの間にか親の一步前を歩くように。

ネイティブ・アメリカンの子育て四訓の「少年は手を離せ、目を離すな」のフェーズに入ったんだなあ…と感じます(;v;)ちよつとサミシ...

親と一緒に遊んでくれるのはいつまでかな？と、せつせと土日に家族イベントを詰め込む日々です(笑) (大槻)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は「そうじ＝整理・整頓・清掃」を通じた企業風土改革を支援します。

講義、実習、チームミーティング、計画作り、現場巡回を通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を

原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)

X(旧ツイッター)で、『環境整備 一日一言』を毎日更新しています。ぜひフォローしてみてください！